

事項

「男性育休は当たり前」の名古屋市の実現に向けた取組について

内容

1趣旨

本市では「特定事業主行動計画（名古屋市職員の女性活躍・子育て支援プログラム）」において「男性育休は当たり前」を前提とし、長期の育休取得や子育て職員を全力でサポートする組織づくりを推進することとしています。

本件は、その取組の一環として、組織全体で育児休業の取得状況等の現状や次世代育成支援に係る課題等を共有し、共通の認識を図ることで、仕事と子育ての両立を支援する組織風土の醸成および職員の意識向上を図るものです。

2男性職員の育児休業取得率について

項目	R5 年度	R6 年度	目標値 (R11 年度)
男性職員の育児休業取得率（14 日以上） （消防局及び教育委員会を除く）	71.8%	77.3%	100%
教育委員会における男性職員の育児休業取得率 （14 日以上）	23.7%	36.7%	100%
消防局における男性職員の育児休業取得率 （1 日以上）	30.3%	50.3%	100%

[参考]育休を取得しなかった理由 上位 2 位（R6 年度次世代育成アンケートより）
「職場が忙しくて取得できる雰囲気ではなかったから」28.0%
「同僚職員など周囲に気がつかなかったから」18.1%

⇒育児休業取得の推進のため、イクボス（課長級以上職員）が中心となって、職場全体で育児休業を取得しやすい風土づくりや支援体制づくりをお願いします。

3各局区室の取得状況等について

（1）男性職員の育児休業取得率について【別紙 1 のとおり】

⇒100%に達していない局区室は、目標達成に向けた取組の実施をお願いします。

※令和 7 年 4 月から、育児休業に関する新たな手当金の制度が始まっております。
詳しくは以下をご覧ください。
http://kyosai.intra.city.nagoya.jp/news/ikuji_jitannkinmu_teate.pdf

(2) 「のびのび子育てマイプラン」提出状況について【別紙2のとおり】

マイプランは、子どもが生まれることがわかった職員等が出産期や育児期における子育て支援制度の利用予定を記載し、職場の長に提出するものです。職場の長は、子育て支援制度の情報提供およびマイプランをもとに面談等を実施し、制度利用等の意向確認を行うこととしております。

[参考] 育児休業取得を後押しした取組 上位2位 (R6年度次世代育成アンケートより)

「職員子育て支援ハンドブック」46.9%

「のびのび子育てマイプラン」30.5%

⇒マイプランの提出は必須であるため、提出率が100%に達していない局区室は、改めてマイプラン提出の意義や理解浸透を図っていただくようお願いします。

4 ご協力のお願い

「イクボス」である課長級以上職員の働きかけが「男性育休は当たり前」の雰囲気醸成につながります。職員からマイプランを提出いただき、必ず職場の長と面談等を実施するよう、改めて周知徹底をお願いします。また、面談の実施や職場の支援体制づくりあたっては以下をご参考ください。

① 別添チラシ「イクボスのみなさまへ」

② 面談の必需品「面談 虎の巻」「子育て支援制度一覧」

http://www.intra.city.nagoya.jp/somu/jinji/new_ikusei/01_jokatsu_jisedai/仕事と子育て両立支援HP.htm

③ 動画で学ぶイクボスの心得「イクボス研修」

http://www.intra.city.nagoya.jp/somu/jinji/new_ikusei/jinzai_ikusei.files/ikuboss.htm

備考

各局区室別男性職員の育児休業取得率について(令和6年度)

	子どもの生まれた 職員数（人）	育児休業 取得者数（人）	育児休業 取得率（％）※
会 計 室	4	1	25.0%
防 災 危 機 管 理 局	2	0	0.0%
市 長 室	1	1	100.0%
総 務 局	21	11	52.4%
財 政 局	15	10	66.7%
ス ポ ー ツ 市 民 局	5	3	60.0%
経 済 局	5	7	140.0%
観 光 文 化 交 流 局	4	3	75.0%
環 境 局	20	10	50.0%
健 康 福 祉 局	16	12	75.0%
子 ど も 青 少 年 局	16	17	106.3%
住 宅 都 市 局	24	19	79.2%
緑 政 土 木 局	25	18	72.0%
千 種 区	2	2	100.0%
東 区	2	2	100.0%
北 区	4	3	75.0%
西 区	3	1	33.3%
中 村 区	7	4	57.1%
中 区	2	3	150.0%
昭 和 区	1	2	200.0%
瑞 穂 区	2	2	100.0%
熱 田 区	0	0	
中 川 区	4	2	50.0%
港 区	3	3	100.0%
南 区	6	5	83.3%
守 山 区	0	1	
緑 区	6	6	100.0%
名 東 区	5	2	40.0%
天 白 区	4	4	100.0%
市 会 事 務 局	1	2	200.0%
監 査 事 務 局	1	0	0.0%
人 事 委 員 会	0	0	
農 業 委 員 会	0	0	
選 挙 管 理 委 員 会	1	1	100.0%
上 下 水 道 局	48	39	81.3%
交 通 局	66	56	84.8%
市 長 部 局 計	326	252	77.3%
教 育 委 員 会	270	99	36.7%
消 防 局	147	74	50.3%

※ 当該年度内に子が生まれた職員数を分母、同じ年度に新たに育児休業を取得した職員数を分子とし算定。

各局区室別男性職員の「のびのび子育てマイプラン」提出状況(R7.1.1～R7.6.30)

	子どもの生まれた 職員数（人）	マイプランを提出した 職員数（人）	マイプラン 提出率（％）※
会 計 室	0	0	
防 災 危 機 管 理 局	0	0	
市 長 室	1	1	100.0%
総 務 局	7	7	100.0%
財 政 局	6	6	100.0%
ス ポ ー ツ 市 民 局	3	1	33.3%
経 済 局	1	0	
観 光 文 化 交 流 局	3	3	100.0%
環 境 局	14	8	57.1%
健 康 福 祉 局	7	7	100.0%
子 ど も 青 少 年 局	4	3	75.0%
住 宅 都 市 局	9	9	100.0%
緑 政 土 木 局	8	2	25.0%
千 種 区	2	0	0.0%
東 区	0	0	
北 区	3	3	100.0%
西 区	2	2	100.0%
中 村 区	3	3	100.0%
中 区	1	1	100.0%
昭 和 区	1	1	100.0%
瑞 穂 区	0	0	
熱 田 区	0	0	
中 川 区	2	1	50.0%
港 区	0	0	
南 区	5	5	100.0%
守 山 区	0	0	
緑 区	3	0	0.0%
名 東 区	0	0	
天 白 区	1	0	0.0%
市 会 事 務 局	0	0	
監 査 事 務 局	0	0	
人 事 委 員 会	1	1	100.0%
農 業 委 員 会	0	0	
選 挙 管 理 委 員 会	0	0	
上 下 水 道 局	32	30	93.8%
交 通 局	32	32	100.0%
教 育 委 員 会	117	3	2.6%
消 防 局	48	44	91.7%
合 計	316	173	54.7%

※ R7.1.1～R7.6.30に子が生まれた職員数を分母、そのうちマイプランを提出した職員数を分子として算定。

イクボスのみなさまへ（課長級以上職員）

特定事業主行動計画に基づくR11年度目標値

男性職員の育休取得率100%※

達成に向け、ご協力をお願いします。

※①市長部局等および②教育委員会は14日以上、③消防局は1日以上

現状値(R6)※

①77.3%

②36.7%

③50.3%

育休を取得するとどんないいことがあるの？

職場

業務の見直し、
「お互い様」風土醸成

職員本人

段取り力や生産性、
行政需要への対応力向上

配偶者

育児・家事負担の軽減
産後の心身のケア

イクボスはなにをすればいいの？ ※②～④は課長級のみ

- ①年度はじめに**イクボス宣言**！
- ②出産がわかった職員へ「**のびのび子育てマイプラン**」提出依頼
- ③マイプランに基づき**面談等の実施** & 取得制度の**意向確認**
- ④「**子育て職員支援計画表**」の作成
- ⑤以下のツールで**イクボスの心得習得** & 職員への**お役立ち情報提供**！



イクボス実践ツール

- ・ [面談「虎の巻」](#)
- ・ [「子育て支援制度一覧」](#)
- ・ [\(様式\)子育て職員支援計画表](#)
- ・ [イクボス講演会](#)
- ・ [イクボス研修（動画掲載中）](#)



子育て支援ツール

- ・ [のびのび子育てマイプラン](#)
 - ・ [職員子育てハンドブック](#)
- [男性職員向け]
- ・ [先輩パパに聞く子育てQ&A](#)
(イントラ公開&随時受付中)
 - ・ [仕事と家庭の両立支援研修](#)
 - ・ [ふらっと相談会](#)

問 合

総務局職員部人事課（所属の研修担当課を通じてお問合せください）
イントラネット > 仕事と子育て両立支援のページ

intra.city.nagoya.jp/somu/jinji/new_ikusei/01_jokatsu_jisedai/仕事と子育て両立支援HP.htm

[illegible]

(2) 早朝開園の実施方法

- ・早朝開園は午前7時～9時の間とします。
- ・文化財保護、城内工事、開園準備のため、進入可能区域を設定します。
- ・早朝に城内工事や売店等の搬出入車両が正門から出入りしており、安全管理の観点などから警備員を配置します。

<早朝開園のイメージ>



4 その他

実証実験初日の11月1日(土)にラジオ体操を実施します。

[日時] 11月1日(土) 午前7時30分～

[場所] 西之丸

備考

本件は、本日、市政記者クラブへ資料提供します。

(名古屋城総合事務所管理活用課 電話 231-1700)

事項	「認知症の日」及び「認知症月間」について
内容	(1) 趣旨 市民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるため、令和7年4月に改正した本市認知症条例において「認知症の日」及び「認知症月間」を新たに設け、集中的に広報・啓発を実施することにより、共生社会の構築を進め、認知症の人と家族をはじめ、全ての市民が安心して暮らせるまち・なごやの実現を目指します。 (2) 期間 ア 認知症の日 令和7年9月21日（日） イ 認知症月間 令和7年9月1日（月）から令和7年9月30日（火）まで (3) 主な取り組み内容 ア 認知症の日のイベント「なごやオレンジフェス2025～認知症の日に考える親のこと、自分のこと～」の開催 これまで認知症に関心を持つ機会が少なかった20歳代から50歳代の学生や働き世代に向けて、認知症を自分事として感じ、認知症についての関心と理解を深めてもらうことを目的として、イベントを開催します。 (日時) 令和7年9月21日（日）13:00～16:00 (場所) ナディアパーク2階アトリウム（イベントスペース） (内容) ①俳優・佃典彦氏によるトークショー（司会：清里千聖）   ②学生ボランティア協力のもと、認知症に関するクイズラリー ③中日新聞東京本社の協力による昔の新聞記事を活用した新聞回想法の体験 ④企業提供ブース ⑤本市施策ブース（気軽にできる認知機能自己検査の実施等）

	(広報) 8/29(金) 市政記者クラブ資料提供 9/1 (日) 中日新聞市民版に告知広告掲載 9/1～20 WEB・SNS 等掲出 10月上旬 中日新聞市民版に載録広告掲載 イ ライトアップ 市役所本庁舎時計塔および中部電力 MIRAI TOWER をオレンジ色にライトアップします。 (日時) 市役所本庁舎時計塔 令和7年9月21日(日) 18時00分から22時00分まで 中部電力 MIRAI TOWER 令和7年9月21日(日) 17時30分から22時00分まで ウ 認知症啓発イベント「RUN 伴(ラントモ) in 名古屋市中区」の開催 オレンジ色のものを身に着けた認知症の人やその家族、支援者等が大須商店街から明治安田生命名古屋ビルまでの約2km をウォーキング等で移動し、普及啓発を行います。 (日時) 令和7年9月21日(日) 16時10分から18時00分まで エ 認知症の人による作品の展示 中部電力 MIRAI TOWER 内において、認知症の人が作成した作品(切り絵、押し花、絵画)を展示します。 (日時) 令和7年9月17日(水)から令和7年9月23日(火・祝)まで 10時00分から21時00分まで(土曜は21時40分まで) (場所) 中部電力 MIRAI TOWER 3階(3階フロア中央展示スペース) オ オレンジリングの着用による認知症の理解促進・啓発 各局室区の職員には、9月の認知症月間においては、認知症サポーター養成講座を受講された方にお渡ししている「オレンジリング」を身に付けていただき、認知症の理解促進・啓発にご協力願います。
備考	本件は、8月29日(金)に市政記者クラブに資料提供予定。 (健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課地域支援担当 972-2549)

事項	名古屋市科学館特別展「昆虫MANIAC」の開催について
内容	1 概要 昆虫は、地球上で報告されている生物種の半数以上となる約 100 万種を占める最大の生物群です。ほとんどは体長 1cm にも満たない小さな生物ですが、体のつくりから行動、能力にいたるまで、その多様性は驚くほど高く、変化に富んでいます。世界にはまだ見ぬ昆虫が無数に存在しており、身近な環境にすら将来の新種や新発見が眠っています。 本展では、国立科学博物館の研究者による、マニアックな視点と研究者セレクトのマニアックな昆虫標本、最新の昆虫研究を織り交ぜ、カブトムシやクワガタムシといったおなじみの昆虫はもちろん、クモやムカデなどを含む「ムシ」たちのまだ見ぬ驚きの多様性の世界に迫ります。 2 会場 名古屋市科学館（理工館地下2階 イベントホール） 3 会期 令和7年11月8日（土）～令和8年2月1日（日） 66日間 4 休館日 毎週月曜日、第3金曜日、12月29日（月）～1月3日（土）、12月2日（火）、1月13日（火） ただし、11月24日（月・祝）、11月25日（火）、1月12日（月・祝）は開館。 5 開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで） 6 料金 一般 1,800円（1,600円）、高大生 1,000円（800円）、小中生 500円（300円） ※（ ）は前売料金 7 主催 名古屋市科学館、読売新聞社、東海テレビ放送 8 目標入場者数 75,000人
備考	本件については、8月13日（水）に市政記者クラブに資料提供しました。

クセすごい昆虫たちの競演！

昆虫 MANIAC

特別展

Special Exhibition
INSECTS

2025年11月8日(土)～2026年2月1日(日)
名古屋市科学館

主催：名古屋市科学館 読売新聞社 東海テレビ放送 特別協力：国立科学博物館

©国立科学博物館、オオナガトグモ=©谷川明男(東京大学)、ギンヤンマのサゴ=©feathercollector / PIXTA ※画像はイメージです。※本展は「昆虫」以外の「節足動物」の展示も含まれます。

